なかどまり 議会ガイド

第44号
平成28年５月10日発行

道の駅こどまりオープン

竜泊ライン開通に合わせて、道の駅がオープンし、４月23日㈯、24日㈰オープン記念として『なかどまりヤリイカ味覚まつり』が開催されました。こども園こどまりの園児によるダンスの披露や旬の新鮮食材が用意され、多くの人で賑わいました。

第１回定例会（平成28年３月）

目　次

■ 第１回定例会 …… Ｐ２
■ 予算特別委員会 …… Ｐ４
■ 一般質問 …… Ｐ５
■ 議員表彰・活動報告 …… Ｐ９
■ 議会の動き …… Ｐ10

［編集・発行］　〒037-0392　青森県北津軽郡中泊町大字中里字亀山434-1　中泊町議会　☎0173-57-2111
ホームページ　http://www.town.nakadomari.lg.jp/

役場新庁舎建設工事 本年12月完成目指して

第1回定例会

3月2日～10日

平成28年第一回定例会が、3月2日から10日までの日程で開かれました。

7日には一般質問が行われ、青山雅晴議員、鈴木長一郎議員、川山光則議員、荒関富雄議員の4名が、町側の答弁を求めました。

8日と9日には、予算特別委員会(委員長川山光則、副委員長長利司)が行われ、平成28年度町一般会計及び各特別会計の予算の審議が行われました。

最終日の10日には、質疑、討論、採決が行われ、条例改正や一般会計補正予算など議案31件、報告4件、発議3件を、いずれも全会一致で承認、可決、同意しました。

補正予算

■一般会計補正予算第9号

主な補正額(歳出)は次のとおり。

□総務費

ふるさと納税記念品　900万円

首都圏富裕層向けタブロイド紙広告料　324万円

奥津軽いまべつ駅・津軽中里駅間バス運行協議会負担金　335万1千円

庁内ネットワーク強靭化事業委託料　1792万8千円

財政調整基金積立金　2901万4千円

□民生費

年金生活者等支援臨時給付金事業　7200万円

認定こども園運営事業　945万1千円

□衛生費

国民健康保険特別会計診療施設勘定操出金　1072万円

□農林水産業費

県営十三湖地区経営体育成基盤整備事業負担金　5040万円

□商工費

地方創生加速化事業　1178万5千円

□土木費

町道除雪業務委託料　1500万円

津軽中里駅～奥津軽いまべつ駅間バス運行

■国民健康保険特別会計補正予算第4号

事業勘定の予算総額に2億1953万7千円追加するもの。主な歳出は、一般被保険者診療給付費　1億7967万8千円

一般被保険者高額医療費　740万円

一般被保険者償還金　2705万5千円

直営診療施設勘定操出金　1295万9千円

診療施設勘定は予算総額から425万8千円を減額するもの。

■介護保険事業特別会計補正予算第4号

予算総額に304万7千円追加するもの。主な補正額(歳出)は次のとおり。

高額介護サービス等費　410万円

特定入所者介護サービス費　937万円

介護給付費準備基金積立金　1203万3千円

■農業集落排水事業特別会計補正予算第1号

施設の電気料17万4千円を減額するもの。

■漁業集落排水事業特別会計補正予算第1号

前年度事業確定に伴う内部補正だけで、補正額は0円。

■特別養護老人ホーム静和園事業特別会計補正予算第三号

各予算の確定額や所要額を調整し、予算総額から1489万9千円を減額するもの。主な減額補正(歳出)は、臨時職員賃金関係・燃料費・各種委託料・備品購入費など。

■後期高齢者医療特別会計補正予算第2号

予算総額から304万3千円を減額するもの。

■**水道事業特別会計補正予算第2号**
職員給料改定による人件費9万8千円を増額するもの。

条例関係

■**行政不服審査会条例の制定**

■**行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定**
行政不服審査法の施行に伴い、審査会の組織及び運営等を定め、関係条例を制定するもの。

■**町議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正**

■**町特別職の職員の給与に関する条例の一部改正**

■**町教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例を廃止する条例の一部改正**
県に準じて、議員・特別職・教育長の期末手当の支給割合を改めるもの。

■**町職員の給与に関する条例の一部改正**
県に準じて、給料の月額及び勤勉手当の額を改め、地方公務員法の改正に伴い、人事評価の結果に応じて昇給及び勤勉手当の支給をするため。

■**町職員の分限に関する手続及び効果についての条例の一部改正**
県に準じて、職員の降給の事由及び手続を定め、その他所要の整備を行うもの。

指定管理

■**認知症高齢者グループホーム**
・管理者…㈳中泊町社会福祉協議会
・期　間…3年間

■**すくすくしたまえ館**
・管理者…㈱小泊うみどりーむ振興社
・期　間…3年間

■**一般廃棄物最終処分場**
・管理者…㈱竹内組
・期　間…3年間

■**町集会施設等**
・管理者…各集落・自治会等
・期　間…10年間

人事案件

■**教育委員会委員の任命**
現委員、成田金春氏の任期が、五月十七日をもって満了することに伴い、同氏を再任するもの。

専決処分

■**半島振興対策実施地域に係る固定資産税の特別措置に関する条例の一部改正**

■**中泊町税条例等の一部を改正する条例の一部改正**
地方税法等の一部改正に伴い、条文を整備するため専決処分したもの。

■**一般会計補正予算第7号**
光ケーブル移設工事費に300万円、町道除雪費に6100万円を追加。

■**一般会計補正予算第8号**
除雪機械修繕料に200万円、町道除雪費に3000万円を追加。

その他

■**第2次中泊町長期総合計画基本構想**
第1次長期総合計画が本年度で終了し、今後10年間の目標を新たに設定し施策を提案するもの。

■**過疎地域自立促進計画（案）**
過疎地域自立促進特別措置法に基づき、平成28年度から平成32年度まで5か年の計画を策定し、過疎対策の推進を図るもの。

■**定住自立圏の形成に関する協定の締結**
五所川原市と定住自立圏の形成に関する協定を締結するもの。

発議

■**議員派遣について**
町議会会議規則の規定により議員を派遣するもの。

■**社会資本整備を国の責任で実施する東北地方整備局青森河川国道事務所の存続を求める意見書**
当事務所には、岩木川や国道の維持修繕など当町に密着した行政機関であることから事務所存続を求め、国関係省庁に意見書を提出するもの。

■**若い人も高齢者も安心できる年金を求める意見書**
現行の年金制度では、生活できるだけの年金が保証されない状況も考えられることから、国関係省庁に意見書を提出するもの。

役場新庁舎建設現場

平成28年度一般会計当初予算 89億5900万でスタート

予算特別委員会

3月8日・9日

3月8日から9日の2日間、全議員をもって構成する予算特別委員会（委員長川山光則、副委員長長利司）が開かれ慎重に審査されました。

10日には、採決が行われ、いずれも全会一致で認定されました。

川山委員長

■中泊町全会計予算額一覧（単位…千円・%）

会計		本年度予算額	前年度予算額	増減比較 増減額	増減比較 増減率
一般会計		8,959,000	7,297,000	1,662,000	22.8
国民健康保険　（事業勘定）		2,430,541	2,469,029	△38,488	△1.6
国民健康保険　（施設勘定）		160,209	170,091	△9,882	△5.8
介護保険事業		1,631,779	1,579,043	52,736	3.3
農業集落排水事業		40,023	40,364	△341	△0.8
漁業集落排水事業		22,046	21,254	792	3.7
特別養護老人ホーム静和園事業		372,009	347,300	24,709	7.1
後期高齢者医療		261,952	257,522	4,430	1.7
水道事業	収益的収入	381,211	376,475	4,736	0.01
	収益的支出	318,384	291,260	27,124	9.3
	資本的支出	148,418	683,804	△535,386	△78.3

主な当初予算（一般会計分）

◇総務費

○ふるさと納税記念品
6000万円

○空き家利活用促進事業
330万円

○新庁舎建設工事費
15億8612万円

◇民生費

○年金生活者等支援臨時福祉給付事業
900万円

○障害者自立支援給付事業
2億7600万円

○認定子ども園運営事業
2億8220万3千円

◇衛生費

○乳幼児・子ども医療費
2232万6千円

○小泊不燃物処理場適正化対策工事費
2億円

◇農林水産業費

○体験ほ場用地購入費
3213万6千円

○農地集積協力金事業費
5300万円

○青年就農給付金
1650万円

○経営体育成支援事業
3000万円

○多目的機能支払事業
1億3615万7千円

○県営十三湖地区経営体育成基盤整備事業
3800万円

○海岸漂着物回収委託料
3001万2千円

◇商工費

○北海道新幹線開業対策事業
284万8千円

○おもてなし推進事業
196万6千円

◇土木費

○折戸下前線岩石崩壊対策工事費
2550万円

○町道354号線融雪溝整備工事費
5010万円

○公営住宅建設事業
3億4334万2千円

◇消防費

○中里消防署タンク車更新事業
8103万5千円

○防災行政用無線更新事業
1億451万2千円

◇教育費

○管内小中学校電子黒板購入費
518万4千円

○中里中学校荷物昇降機改修・渡り廊下屋根防水シート張り替え工事費
699万円

◇公債費

○長期債元金
9億6390万1千円

○長期債利子
1億527万3千円

一般質問

・雇用対策について
（豊富な水産資源を利用した雇用対策）

青山雅晴議員

Q

4月から6月まで収穫できるワカメ、7月から始まるモズク、メカブなど、冷蔵庫に保管すれば1年を通して販売できる。

国・県などの何らかの補助事業等を利用して冷蔵庫を整備し、雇用の拡大に繋げられないものか。

A

■小野町長

現在小泊漁協所有の水産加工処理施設があり、その中に冷蔵冷凍庫が整備され、地区内の業者に貸し出ししているが、現在稼働していない状況である。また、漁協所有の冷凍冷蔵施設が2カ所あり、1カ所は小泊婦人部が簡易加工処理施設で扱う原材料を保存し、さらには期限つきで漁業者2名に貸し出している。もう一カ所は漁業者に漁業用餌保管施設として78区画を貸し出ししている。また、旧小泊時代に建設された活魚備蓄施設、水産加工処理施設、アワビセンターなど、漁業振興のために整備されたが、残念ながら今現在閉鎖されている。

冷凍冷蔵庫の必要性については、水産物の原材料を冷凍保存しておくことにより、いつでも加工でき、さらには加工した水産物が冷凍保存することにより、いつでも販売できる。

このようなことから、経営したい業者がいれば両漁協、地域の皆さんと町と相談しながら、町が何をすべきかを十分協議し計画していきたい。

小泊漁協　水産物加工処理施設

施設内冷凍冷蔵庫

A

■藤田水産観光課長

水産庁の事業には様々な事業があり、その事業をこれから模索して、どのような機能の冷凍庫を設置すればよいか、漁協や地域住民といろいろ検討していきたいと思っている。

傍聴席は、あなたの席です！！

中泊町議会　平成28年　第２回定例会は、６月上旬です。
会議は公開されており、どなたでも議会の傍聴ができます。
平成28年第１回定例会の傍聴者は、９名でした。
皆さんの傍聴をお待ちしております。

一度、町議会へ足を運んで、自分の目でご覧下さい

・子育て支援問題について（子育て支援金の見直し）
・行政と財政について（今後の行財政運営の考えは）
・漁業振興問題について（下前海域の汚染対策）

鈴木長一郎議員

Q

子育て支援金は、当町に5年以上在住しなければ支給されないようだが、この期間を見直しできないものか。

小野町長答弁

A

■小野町長

子育て支援金条例で定められており、保護者が町に引き続き5年以上住所を有し、12歳未満の子を1人以上養育している場合、出産した第2子以降の子から支給している。支援金額は、第2子誕生のときは誕生祝金として3万円、第3子以降は1人当たり10万円となっている。また、第3子以降の子が小学校入学の際には入学祝金として5万円を支給している。

支給要件の見直しについては、子育て世代の負担を軽減し、少子化対策の一助になるのであれば、5年在住の要件を短くするなど検討しながら、アンケート調査も行っているので、その意見等も参考に見直しについて前向きに考えてまいりたい。

Q

今後、益々厳しくなる行財政運営に対する具体的な対応を伺いたい。

A

■飯塚総務課長

平成28年度に公共施設等総合計画を策定し、長期的視点で公共施設等の更新、統合、長寿命化など計画的に行う。

また、職員の適正化計画も見直しを進め、現在の職員数165名を業務や住民サービスに支障のないよう慎重に検討しながら、機構改革ともあわせて見直しを進め、人件費の抑制等にも努めて健全な行財政運営のため改革に取り組みたい。

Q

毎年春先になると岩木川からの汚染水が下前海域まで流れ、ヤリイカ等に支障が出ているようだが、この対策として、水質検査など関係方面にどのような働きかけをしたのか。

ヤリイカ漁　（写真提供・柳沢良知氏）

A

■藤田水産観光課長

現状では、雪解け水や濁り水が岩木川水系から潮目を形成し下前地区へ流れていくこと、そして低塩分の関係かどうかは明らかになっていない。

この対策として、水産事務所で現在調査していることから、結果がまとまり次第水産事務所、下前漁協などと協議をし、国及び県のほうへ陳情していきたいと考えている。

一般質問はインターネット・ライブ中継がご覧になれます。

パルナス・小泊支所・すくすくしたまえ館のロビーにもテレビ中継されています。ぜひご利用ください。

HPアドレス　http://www.town.nakadomari.lg.jp/index.cfm

- 観光振興対策について（奥津軽いまべつ駅の二次交通で小泊・下前は）
- 漁業対策について（下前・折戸地区に沿岸密漁監視塔の設置は）
- 地域対策について（小泊漁火団地内の融雪溝の整備は）
- 地域の所得対策について（海岸清掃に地域業者の参加は）

川山光則議員

Q 奥津軽いまべつ駅から津軽中里駅の二次交通で夏場の観光振興のためにも小泊・下前方面にも路線バスを通すことはできないものか。

A ■小野町長

北海道新幹線開業効果を獲得するためには二次交通の整備が必要ということで、本年の2月に関係団体等で運行協議会を設置した。この協議会が主体となり、1日4往復8便で、北海道新幹線開業日の3月26日から通年運行を決定したものである。当面は平成32年度までの5年間の予定であるが、運行の実績を検証し、必要に応じて運行形態等の見直しを行うこととしている。

当町の観光資源の多くが小泊地区にあることを考えれば、小泊地区にも交通手段を確保すべきとの意見も多くあるかと思うが、まずは本路線の運行を開始して、路線の延長などは、今後の利用の状況等を踏まえ、次の対策を検討させていただきたい。

Q 昨年、小泊地区に沿岸密漁監視塔が設置され、下前・折戸地区にも必要と思うが当局の考えは。

A ■藤田水産観光課長

小泊密漁防止監視塔建設の経緯として、1つ目は、小泊漁港の第3東防波堤には約70隻のプレジャーボートが係船されており、近くにトイレがなかったこと。2つ目は、近年沿岸漁業において採介草採取に従事する漁業者が増加傾向で、磯根資源を採取し、安定的な経営を目指したが、密漁があり、小泊磯廻り組合が設立されたこと。この2点から、磯根資源の管理に努め、トイレと一体化となった監視塔を町の補助金を受け小泊漁協が建設したものである。

このことから、監視塔の建設には建設後の管理費を理解いただき、計画書等を作成して相談を受ければ検討してまいりたい。

Q 小泊漁火団地は、家が密集して雪捨て場がなく、海に捨てると転落の危険性があるので、早急に融雪溝を整備できないものか。

A ■佐藤環境整備課長

融雪溝を整備するには、調査設計、工事実施に至るまでの時間を要するもので、事業化するためにも水源の確保や維持管理方法、財源の見通し等いろいろな問題もあり、早急に実施することは難しい状況だ。

今後の検討課題として最善な方法を考えていきたいと思うが、それまで可能であれば団地北側の漁港空き地等を借地して雪捨て場に利用するなどの措置を講じながら、小泊支所とも連携を図り、安全には十分配慮したいと考えている。

Q 海岸清掃に国から多額の交付金を受け実施しているが、地域の所得対策として落札業者に地元の人を雇用できないか。また、この事業に小泊地区の建設業者も入札に参加できないものか。

A ■横野財政課長

海岸清掃については、落札業者に確認したところ、小泊地域の住民12名を短期雇用しているとのこと。

海岸漂着物は産業廃棄物に分類され、町では産業廃棄物処理などの許可を持っている業者を指名し、入札を執行してきている。残念ながら小泊の建設業者で産業廃棄物処理などの許可を持って指名願を出している業者はなく、国の交付金事業で会計検査の対象事業でもあることから、ルールに沿って進めながらも、交付金担当課である水産観光課と協議しながら何かいい方法がないか検討したい。

・行政機構について（ふるさと創生課の新設）
・ふるさと納税について（今後の使い道は）
・選挙制度改正について（投票時間の短縮）

荒関富雄議員

Q 国からふるさと創生という新しい流れがどんどん入り、それらを責任を持って処理・検証していくためにも「ふるさと創生課」の新設は必要ではないか。

A ■小野町長

地方創生などに対しては、総務課の企画係で対応している。

今問題となっている人口の減少対策や広域行政などに対応した将来のまちづくりを進めていくためにも企画部門の充実は必要と考えており、前向きに検討し機構改革を進めて参りたいと考えている。

Q ふるさと納税は急激に増えているようだが、どのようなPR効果があって増えたのか。また、納税した方々の意思があると思うが、どのような政策に使っていくのか。

A ■飯塚総務課長

ふるさと納税については、昨年の9月からふるさと納税ポータルサイトを活用して、当町の特産品などをお礼の品としてサイトに載せたところ、予想を大幅に上回る効果があり、昨年12月末までの期間で686件、約2700万円の寄附金額となっている。

この寄附金の使い道は、ふるさと納税を申し込む際に寄附した方々から選べる使い道として5つの選択肢、豊かで美しい自然を守るまちづくりコース、子育て支援コース、ブランド開発コース、津軽鉄道応援コース、町長お任せコース、この中から選択いただいている。

今年の充当先事業として、磯焼け対策事業、認定こども園運営事業、ご当地グルメ開発事業、津軽中里駅ざわめき空間創出事業などに充当している。

来年度以降は、寄附金額にもよるが、充当先事業を検討し、状況によっては基金をつくって積み立てし、新しいまちづくり事業等に充てていくことなども検討していく必要があると考えている。

Q 現在の期日前投票は、有権者の利便性が図られ投票者が増えているようであり、当日の投票日は現行の8時までを1時間繰り上げし、開票事務等も早くできるよう選挙管理委員会に投票時間の短縮をお願いしたい。

A ■田中選挙管理委員長

当委員会では、これまで主要な選挙について公選法の原則どおり午前7時から午後8時までの投票時間としている。

公選法では、選挙人の投票の便宜を図るため特別な事情、または選挙人の投票に支障がないと認められる特別な事情があれば、投票開始時刻を2時間まで前後させたり、終了時間を4時間まで繰り上げたりすることができる。

なお、町の選挙以外は県選管との協議、届け出が必要となるが、町選挙の場合は当委員会が一元的に判断することになる。

投票所閉鎖時間を1時間繰り上げてほしいとの要望であるが、選挙の都度、当委員会が判断することになり、現時点で明確に繰り上げるかどうか申し上げることができないことをご理解いただきたい。

全国的に投票率が低下傾向にある中、総務省や県選管では投票率向上に向けた取り組みを強化しているところであり、投票所閉鎖時刻の繰り上げによって投票率が低下するような事態となれば、それは望ましくないことであり、仮に繰り上げを決定すれば、徹底した広報啓発活動を行うなど、投票行動に支障が生じないよう万全の対策をとる必要がある。

今後も引き続き選挙人の投票行動を注視し、選挙の都度、慎重に検討し、適正な選挙の管理執行を行ってまいりたい。

議　員　表　彰

このたび、地方議会議員としての長年の功労により、野上祐一議員、野上憲幸議員、兵庫桂蔵議員、青山雅晴議員、長利司議員が表彰されました。今後とも、地方自治発展のためご尽力いただきたいと思います。

兵庫桂蔵議員

■全国町村議会議長会
表彰　15年以上在職

野上憲幸議員

野上祐一議員

■全国町村議会議長会
表彰　27年以上在職

長利　司議員

■青森県町村議会議長会
表彰　11年以上在職

青山雅晴議員

■青森県町村議会議長会
表彰　19年以上在職

活　動　報　告

議員視察研修・沖縄県久米島町との交流活動

１月26日㈫～28日㈭、沖縄県久米島町と宜野座村へ視察研修を行いました。

久米島町では、プロ野球キャンプが実施された経緯と経済効果や海洋深層水を利用したクルマエビ、ウミブドウの養殖について意見交換が行われ、各施設を視察しました。視察後の交流会では、旧中里町で親交があったことから、今後も両町の交流が継続するよう希望して交流を深めました。

宜野座村での研修は、村の人口増加の要因及び村政の取組みについて意見交換が行われました。

久米島町での研修

久米島町交流会

宜野座村での研修

青森県選出国会議員への要請活動

１月25日㈪、青森県選出国会議員へ町議会議員14名で要請活動を行い、次の要望事項をお願いしました。

①TPPの大筋合意に伴う農産物の対応について
②小型クロマグロ漁獲規制に係る漁業者及び漁業協同組合への支援について
③一級河川の治水対策の促進について

〔訪問先〕
木村太郎衆議院議員、津島淳衆議院議員、升田世喜男衆議院議員、山崎力参議院議員、滝沢求参議院議員

津島淳衆議院議員への要請

升田世喜男衆議院議員への要請

議会の動き

1月

- 20日　西北郡町議会議長会議長・事務局長会議
- 25日　県選出国会議員への要請活動
- 26日　議員視察研修
- 27日　議員視察研修
- 28日　議員視察研修

2月

- 5日　子ども議会
- 13日　津軽・東京吹雪の会総会
- 15日　産業建設常任委員会
- 16日　総務企画常任委員協議会
- 22日　民生文教常任委員会
- 議会運営委員会
- 23日　県町村議会議長会定期総会
- 26日　民生文教常任委員協議会

3月

- 2日　定例会開会日
- 7日　定例会一般質問
- 8日　予算特別委員会
- 9日　予算特別委員会
- 10日　単行案審議・採決・閉会
- 16日　県道三厩小泊線整備促進に伴う両町交流会
- 26日　北海道新幹線開業式典・出発式

委員会だより

産業建設常任委員会
（鈴木長一郎 副委員長）2月15日(月)

産業建設常任委員会の様子

〈案　件〉
○社会資本整備を国の責任で実施する東北地方整備局青森河川国道事務所の存続を求める陳情

【審査結果】
当町においても岩木川流域の河川事業や国道101号線の維持修繕・冬期交通網の確保など地域と密着した行政機関であることから、趣旨を認め採択すべきものと決定。

民生文教常任委員会
（荒関富雄 委員長）2月22日(月)

民生文教常任委員会の様子

〈案　件〉
○若い人も高齢者も安心できる年金を求める意見書採択の陳情

【審査結果】
月約５万円の低年金者が増えている中、「マクロ経済スライド」の実施に伴いさらに年金額が引き下げられ、生活できるだけの年金が保証されない状況になることから、趣旨を認め採択すべきものと決定。

議会運営委員会
（長利　司 委員長）2月22日(月)

議会運営委員会の様子

〈案　件〉
- 平成28年第１回会定例会会期日程について
- 予算特別委員会の組織及び委員会日程について
- 提出議案について
- 陳情書等の委員会審査結果について
- 新規に受理した陳情等の取り扱いについて